平成３０年１２月２日

加盟団体各位

（一社）日本学生氷上競技連盟

会　長　　福　田　弥　夫

理事長　　藤　本　拓　輝

駒澤大学の出場辞退について

時下　ますますご清栄のことと存じ上げます。

１１月３０日に駒澤大学体育会アイススケート部より、電子メールにて「諸事情により第９１回日本学生氷上競技選手権大会への出場を辞退する」旨の連絡がありました。駒澤大学は関東地区予選を経て出場資格を取得しておりますが、参加資格を取得した大学が辞退するという事態は、近年全く例がありません。ご承知の通り大会開始まですでに一か月を切っております。駒澤大学はセカンドディビジョンの出場資格を得ておりますが、関東地区には駒澤大学の次順位の学連登録チームはありません。

関東地区からは、駒澤大学に代わって出場できるチームはないため、どのような対応をするかについて、会長、理事長及びホッケー部門関係者で急遽協議をいたしました。対応策については、三案が提案されました。その一つは７チームでのトーナメントとすること、二つ目は他の地区の次順位のチームに参加を求めること、三つめは学連選抜のような形で参加希望者を募ることです。

協議の結果、とりあえず二つ目の案で進めることといたしました。本年度の各地区の予選会の結果によれば、各地区のセカンドディビジョン出場校の次順位の大学は次の通りになります。①北海道地区（釧路連合）、②東北地区（東北大学）、③甲信越地区（金沢大学）、④関東地区（該当なし）、⑤中部地区（名古屋工業大学）、⑥関西地区（近畿大学）、⑦中四国地区（愛媛大学）、⑧九州地区（久留米大学）。

それでは、どのような優先順位で出場意思を確認するかですが、プログラム等の作成を急いでいるところでもあり、順次に意思確認をしてゆく方法では時間を浪費する可能性が高いため、該当する大学すべてに出場の意思確認を行います。なお、複数校から出場希望があった場合には、以下の優先順位に従って決定します。

優先順位は以下の通りです。

1. 甲信越地区、②中四国地区、③中部地区、④九州地区、⑤関西地区、⑥東北地区、⑦北海道地区。この順位は、以下のような理由からです。

１）北海道地区と東北地区は第９１回大会のディビジョン１においてそれぞれ地域枠の増加が図られており、優先順位を下げる必要があると考えられること。

* 1. 関西地区と九州地区はファーストディビジョンに複数校出場しているところから、各地区の活性化のためにはファーストディビジョンとセカンドディビジョンに各１校しか出場しない地区を優先すべきと考えられること。
	2. 各ディビジョン１校のみの地区については、学連加盟校数の多い方を優先的に取り扱うべきと考えられること。
	3. 九州地区と関西地区では、九州地区は両ディビジョン併せて３チームであるが、関西地区は両ディビジョン併せて７チームであり、セカンドディビジョンをスタートした趣旨からも、九州地区を優先すべきと考えられること。

なお、すでに組み合わせが決定されていますが、変更の必要性などについては、後日判断することといたします。

本件については、平成３０年１２月２日に理事の意見を聴取しております。

年末に入り、大変お忙しいとは存じますが、このような対応を行うことをご理解くださいますようお願い申し上げます。

以上